



いのちの話をしませんか

〜検診で守れる未来があります〜

1/2

これは現在、日本でがんにかかる人の割合です。「まさか自分が」「まだ若いから大丈夫」などと思っていませんか。現在、子宮頸がんが20〜30代の女性で急増しています。自身の経験から予防啓発に取り組むテレビアナウンサーの村上美香さんに、子宮頸がんの現状と検診の大切さについて話を聴きました。

健康推進課健康推進係
0968(25)7219

がんの疑いあり

平成25年2月、番組で子宮頸がんをテーマに取材することになり、検診を受けました。それから4日後、予期せぬ検査結果が送られてきました。そこには「ごく初期のがんの疑いあり」と記されていたんです。

自覚症状は全くありませんでした。痛みもかゆみもない。がんの疑いと書いてあるのを見て、重い気持ちになりました。検診は毎年受けていました。去年まで何の異常も無かったのに、なぜ急に……。

精密検査を受け、上皮内がん(初期の子宮頸がん)ということが判明。すぐに「赤ちゃんを産めないのでは」という不安が頭をよぎりました。思い切って先生に尋ねると「子宮は残せません。安心してください」と言われたんです。涙がこぼれました。

一部がんが進行している疑いもあることから、組織検査をすることに。手術までの間、仕事に追われながらも不安に襲われる日々を過ごしました。本当に治るのかな、子どもは産めるのかな。それから命について考えるようになりました。

いよいよ手術の日。無事にがんを取り除きました。経過も良好。4日後に

は仕事に復帰できました。1カ月後、組織検査の結果が出ました。疑われたがんの進行はなし。ほっとしましたね。不安な毎日でしたが、夫や家族のサポートが大きな支えになりました。とても感謝しています。

約8割が予備軍

2人に1人はがんになる時代といわれています。でも、それは自分ではないとずっと思っていました。軽い気持ちで受けた検診で、がんと言われたときは本当にショックでした。ただ、取材のために事前に勉強していたので、パニックにはなりませんでした。もし事前知識がなく、急にがんと診断されたら、怖くて詳しく調べることなんてできなかつたと思います。

子宮頸がんは、主に性交渉によるウイルス感染で発症します。性交渉という言葉から偏見も多い病気です。しかし、特別な人がかかるものではなく、約8割が感染するウイルスだということとはあまり知られていません。女性の誰もが子宮頸がんの予備軍なのです。決してひとごとではありません。

それなのに、他の先進国と比較して検診を受ける人の数はとても少なく、熊本県では3割を切っています。しか

も子宮頸がんが急増している20代に限っては、約8%の人しか検診を受けていません。子宮頸がんの正しい知識があまり知られていない結果だと思えます。正しい知識が世の中に広まっていて、検診の大切さを誰もが当たり前のように分かっていたら、赤ちゃんを授かることができた人もいたかもしれません。偏見にさらされる患者さんも、もっと少なくなつたはずですよ。

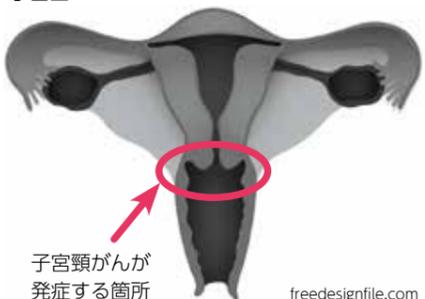
自分だけの問題じゃない

私はたまたま早い段階で見つかりましたが、子宮を摘出した人、妊娠と同時に子宮頸がんが分かり、赤ちゃんをあきらめなければいけない人、命をなくす恐怖と隣り合わせの人がたくさんいます。

20代で子宮を失った女性の話です。働き始めて間もない23歳で子宮頸がんを発症しました。検診で分かったときにはかなり進行していて、明日にでも病院に行きなさいと言われてたそうです。でも彼女は若く、子どもを産めない未来が想像できずにいました。親が泣いている姿を見て初めて、事の重大さに気付いたと言います。

子宮摘出。手術の前日、急に怖くなり病院から逃げ出しました。子どもを

子宮図



freedesignfile.com

子宮頸がんとは

子宮の入り口付近に発症するがん。他のがんと異なり、「HPV(ヒトパピローマウイルス)」の感染で発症します。20〜30代の女性がかかるがんでは一番多いがんです。主な感染経路は性交渉。一度でも経験があると発症のリスクがあるといわれています。初期症状はほとんどなく、進行すると異常なおりもの、月経以外の出血(不正出血)、性行為の際の出血、下腹部の痛みなどが現れてきます。進行状態により、がんの前の段階である「異形成」、子宮頸部の表面だけのがんがある「上皮内がん」、周囲の組織に入り込み始めた「浸潤がん」に分類されます。

Profile むらかみ・みか
昭和46年7月12日生まれ。熊本市出身。KKT熊本県民テレビアナウンサー。自身の体験から出演する番組「テレビタミ」でシリーズ子宮頸がんを企画。テレビやインターネットのほか、県内の高校や大学などで講演を行い、子宮頸がんの正しい知識と検診の大切さを伝える啓発活動を実施中。

子宮頸がん個別検診を実施します

市内の産婦人科医院で子宮頸がん（個別）検診を実施しています。20～30代の若い女性を中心に、子宮頸がんにかかる人が急増しています。自分の命と家族のために、この機会にぜひ検診を受けてください。

【対象者】 20歳以上の女性(平成28年3月31日現在)
※妊娠中・婦人科疾患治療中の人は除きます。
※検診日に本市に住んでいない人は受診できません。

【期間】 10月31日(土)まで ※(日)祝を除く

【実施医療機関と受付時間】

- 黒川産婦人科医院 ☎0968(25)1071
受付 午前9時～午後0時30分
午後2時45分～5時30分
休診 (水)の午後
- 齋藤産婦人科医院 ☎0968(24)1177
受付 午前9時～正午
午後2時～6時
休診 (木)の午後

- 米田産婦人科医院 ☎0968(25)2589
受付 午前8時30分～正午
午後2時～午後5時30分
休診 (木)の午後

【料金】 (平成28年3月31日現在の年齢)

- 20歳～69歳 1600円
 - 70歳以上 500円
- ※無料クーポン券対象者は無料で受診できます。

【用意するもの】

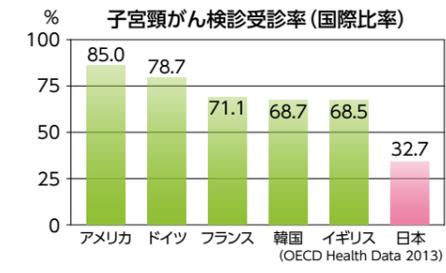
- 問診票（健康推進課、各総合支所総務民生課、実施医療機関にあります）
 - 料金（おつりがないようにご準備ください）
 - 健康手帳（お持ちの人）
 - 健康保険証
 - 子宮頸がん検診無料クーポン券（対象者のみ）
- ※無料クーポン券は検診当日まで無くさないように大切に保管してください。



検診は専用の器具を使い、子宮頸部を軽くこすって細胞を採取。1～2分程度で終わり、痛みもほとんどありません。



日本では年間に約15,000人がかかり、約3,500人が死亡。約100万人が予備軍といわれています。



日本の受診率は先進国の中で最下位。子宮頸がんに対する理解と検診の必要性が知られていないことがわかります。

「健診」もお忘れなく！

「検診」は、がんなど特定の病気を早期に発見し、早期に治療することが目的です。一方「健診」は、健康かどうかを確かめるもの。さまざまな病気の危険因子がないかを調べます。しかし、昨年度の本市の受診率は約3割にとどまり、国の目標である7割に遠く及びません。健診のメリットは何か、菊池養生園の芹川先生に話を聴きました。

将来的な負担を減らせる機会です

「病気が見つかるのが怖い」「病院に行くのが面倒だ」「自分は病気にならない」などの理由で受診しない人がいますが、そんな人に限って症状が進んで見つかると、手遅れになる場合があります。病気になると苦痛が伴うし、お金もかかります。生活習慣病など早目に対処できれば、食事療法や運動療法だけで済み、経済的にも余裕が出ます。

がんも早期に治療できれば、体への負担と費用を少なくできるでしょう。少しの時間と費用で受けられる検(健)診は、将来的な負担を減らせる良い機会なのです。



菊池養生園 芹川和志 医師

受診後に再検査が必要なときもあります。しかし「再検査＝病気」というわけではありません。自分の体を知るチャンスだと思って、必ず受診してください。

楽しい未来のために Let's 健診!

こんなに良いことありました



医療費削減につながります
自分の体を知る良い機会と思い毎年健診を受けています。自分では気付かない体の異常を知ることができました。異常を早く見付けて早めに対処すれば入院せずに済む場合もあるし、医療費の削減にもなりますよね。

最後まで健康でいたいから

退職後に健診を受けました。きっと大丈夫だろうと思っていたら、予想以上に血糖値が高くて驚きました。今は食事や運動に気を配り、体の調子もいいです。死ぬまで健康でいたいから、これからも健診に行きます。



光堀美津子さん (片角)

夫と子どもの3人家族。毎日笑いに包まれた明るい家庭でした。それを自分のせいで壊したくないと思い、家族の前ではいつも笑顔を見せていたと言います。みんなが寝静まって一人になったとき、布団に隠れて泣いたそうです。

命を選ぶ決心をしました。この話を聞いたとき、がんは自分一人の問題ではなく、家族全員の問題なんだということを知りました。

子宮頸がんのことを知ってください。我慢せずに周りの人になんでも伝えてください。相談できる場所を見つけてください。いつの日か子宮頸がんが悲しむ人がいなくなることを願っています。そのために、まずは熊本からなくしていきましょう。

40歳で子宮を無くしたお母さんもいます。同僚から勧められて行った12年ぶりの検診でがんが見つかったそうです。一度は手術で患部を切除しましたが、検査の結果内部に広がっていたことが分かり、子宮を摘出することに。状況を受け入れるのにすごく時間がかかったと言います。新しい命か、自分の命か……。

小さい子どもを残して亡くなる人もいます。子どもが子宮に入ったまま取り出さなければならなかった人もいます。子宮を取ってしまうと、排尿困難、便秘、リンパ浮腫、性交障害などの症状になることがあります。子宮を取るということは、とても重くて苦しい選択なんです。

もし周りに子宮頸がんにかかってしまった人がいたら、全力でサポートしてあげてください。パートナーや家族、周りの人の支えは、患者さんにとってとても大きい力になります。私は子宮頸がんになって、女性としての自分の体を見直す機会になりました。

生んで育てる幸せを当たり前にできると思っていた、それができなくなる。生きていく意味があるのかと悩み、自暴自棄になったのです。

我慢しないで

だから検診が大切なんです

自分の健康と家族のために

複合健診(集団健診)を

▼検診日程

検診日	該当地区
8月1日(土)	富、南古閑、北古閑、野間口、東原、上西寺、北宮
2日(日)	南山手、上住吉、南住吉、富納、永、永出分、小川、九の峰、姫井、楠原、あさひが丘
3日(月)	桜山一、桜山二、桜山三、桜山四、桜山五、桜山六、桜山七、桜山八、桜山九、東迫間、遊蛇口
4日(火)	岩本住宅、岩本、伊萩、妻越、片川瀬、尾足、大迫、小原、津留、新明団地、村吉
5日(水)	片角、袈裟尾、切明、飛熊、北住吉、永南、田吹
6日(木)	三万田、久米一、高江出分、高江、福本一、福本団地、東原団地、北桜ケ水、南桜ケ水、湯舟、平、高柳、高柳住宅
7日(金)	栄町、北原、立石、神来、元村、上橋田、下橋田、七城松島、小野崎、打越、大尺、新村
8日(土)	築地、亘、五海、砂田西団地、間所、菰入、甲佐町、雇用促進住宅、新古閑、清水
9日(日)	久米二、竹の下、薬師、上高江、福本二、蟹穴、羽根木、西郷、西郷従業員住宅、荒牧、加恵、本村、七城田中、戸田島
10日(月)	山崎、上水次、下水次、岡田、流川、辺田、瀬戸口、台、高田、内島、林原、梶迫、板井、前川、岩瀬、宮園
11日(火)	富の原中央、富の原台、泗水田中、富出分、小木、稗方、堀切、玉祥寺
12日(水)	高野瀬、七坪、市野瀬、中野瀬、西迫間、戸豊水
9月1日(火)	迫田団地、堂迫団地、朝日団地、北原団地、銚の甲、柏、伊野、杉生、古川、滝黒仁田、伊倉、泗水平野、井戸方、泗水佐野、糠泉、辰頭東団地、辰頭西団地
2日(水)	永山、立門、木護、生味、木佐木、金峰、道園、篠倉、茂藤里、戸豊水(中尾)、大柿、菊池平野、西正観寺、川辺南、川上、川下、出分、高永、伊坂住宅、伊坂
3日(木)	上古閑、甲森北、乙森北、上赤星、下赤星、今、木柑子
4日(金)	富の原一、富の原団地、富の原西、田島一、田島二、田島団地、猪の目、岡
5日(土)	富の原東、富の原北、穴川、鳳来、龍門1、長野、寺小野、染土、雪野、太田
6日(日)	東正観寺、大琳寺、中西寺、下西寺、辻、上長田、下長田、大塚
7日(月)	村田、深川、迎町、中央通、横町、立町、正院町、上町、中町、下町
8日(火)	植古閑、広瀬、花房台、伊牟田、戸城、日生野、原細永、鍋倉、菊池佐野、上木庭、下木庭
9日(水)	岩平、塚原、長六、下組、神鶴、菊池松島、柿木平、日向、中原、藤田、上出田、下出田

※指定された日程で都合の悪い人や、まだ申し込みをしていない人はお問い合わせください。
 ※受付時間は午前7時～10時30分ですが、混雑を避けるため、申し込みを基に時間を指定しています。
 ※当日は、会場まで送迎バスを用意しています。送迎バスの時刻表は各種問診票と一緒に送付しています。

受診しましょう!



複合健診は、特定健診、後期高齢者健診、生活習慣病健診および各種がん検診を同じ日に同じ会場で受けることができる健診です。

5月に実施した健診希望調査を基に複合健診を実施します。健診を申し込んだ人には問診票などを7月中旬に送付しています。申し込みを忘れた人や転入した人も受診できますので、詳しくはお問い合わせください。

菊池市国民健康保険以外(社会保険など)の加入者は、加入している医療保険者が菊池養生園を健診機関として指定している場合のみ、特定健診を受診することができます。詳しくは加入先の医療保険者(勤め先など)にお尋ねください。生活習慣病健診と各種がん検診は、加入中の医療保険に関係なく受診できます。

☎健康推進課健康推進係 ☎0968(25)7219

▼検診項目・料金 健診会場 菊池養生園(菊池広域保健センター)

項目	内容	対象・料金	市補助額
生活習慣病健診	身体・血圧測定、尿検査、心電図、血液検査(肝機能・腎機能・血糖検査など)	19～39歳 2,000円	6,434円
特定健診(菊池市国民健康保険加入者)	身体・血圧測定、尿検査、心電図、血液検査(肝機能・腎機能・血糖検査など)	40～69歳 1,500円 70～74歳 800円	5,150円 5,850円
後期高齢者健診	身体・血圧測定、尿検査、血液検査(肝機能・腎機能・血糖検査等)	75歳以上 800円	6,200円
結核検診	検診車での胸部X線検査	65歳以上 無料	1,360円
肺がん検診	65歳以上はどちらか1つ 喀痰検査(検診当日、問診で必要な人のみ)	30～69歳 500円 70歳以上 200円	1,145円 1,445円
		30～69歳 800円 70歳以上 300円	1,905円 2,405円
胃がん検診(バリウム)	バリウムによる胃部X線検査	30～69歳 1,000円 70歳以上 500円	3,752円 4,252円
腹部超音波検診	肝臓・ひ臓・腎臓・すい臓・胆のうなどの検査	19～69歳 1,500円 70歳以上 1,000円	2,064円 2,564円
大腸がん検診(便潜血検査)	2日法による便潜血検査 ※内視鏡検査は便潜血検査の結果により別日程(11月)で実施	30～69歳 500円 70歳以上 200円	1,187円 1,487円
子宮頸がん検診	子宮頸部検査	20～69歳 1,200円 70歳以上 500円	2,904円 3,605円
乳がん検診	超音波	20～69歳 1,000円 70歳以上 300円	2,240円 2,940円
	マンモグラフィ	40～69歳 1,000円 70歳以上 500円	3,860円 4,360円

※対象年齢は、平成28年3月31日時点での満年齢です。(後期高齢者健診を除く)